



2号機でも爆発音

福島第一原発

原子力安全・保安院によると、東京電力から「午前6時10分に福島第一原発の2号機で爆発音があった」と報告があった。格納容器の下部にあるサプレッションチェンバー（圧力抑制室）の圧力が通常の3気圧から1気圧に減っており、圧力抑制室が損傷、外部に放射性物質が漏れた恐れがあるという。

第一原発の正門では午前7時時点で、毎時965㏩シーベルトの放射線を観測。保安院は「自然界から浴びる1年分の半分ぐらいの放射線を、1時間で浴びる量だが、健康にかかわる値ではない」と説明している。

正門での放射線は午前7時5分には387.3㏩シーベルトに減ったが、東電によると、2号機の中央制御室にいた社員らを一時退避させた。